

季節性の移り変わりとは不思議なもので、当たり前のことはいいながらも、暦とよく連動していることにいつも感心させられます。今年の夏、東京では猛暑日の連続がついに記録を更新し、まだまだ続くのかといささかウンザリしていたところへ、立秋を過ぎて、“暑中お見舞い”を“残暑お見舞い”と書かなければならなくなった週末を迎えた途端に、猛暑日が途切れたのです。まさに暦通りの変化に驚くとともに、暑さが多少なりとも和らいだことに少しホッとした気分になりました。

朝の公園のせみ時雨にしても、アブラゼミとミンミンゼミの二重唱にツクツクボウシの声が混じるようになったのは、ちょうどそのころからだったと思います。セミといえば、関西ではおなじみのクマゼミの“シャーシャーシャー”という鳴き声が最近、東京でも聞かれるようになりました。これまでは、関東地方でも私の実家がいった小田原辺りがクマゼミのすむ北限だったようですが、近年の気候温暖化に伴い、生息域が北上しているそうです。一方、私が子どものころは、セミ取りに行くとい番たくさん捕まえることができた、あの小さな“チッチ”と鳴くニイニゼミですが、最近、都市部ではほとんど見掛けることがなくなってしまいました。その理由はよくはわかっていないらしいですが、一説によると、“幼虫が水分をたくさん含んだ地中に生息するため、森林が伐採されたり、地面の舗装が進んだりして、地面の乾燥化が進んでいることが影響しているのではないかと”か、“小型で飛翔力がほかのセミよりも格段に弱いため、緑地が分断されて緑地と緑地の間の距離が離れている都市部では、その間を移動できず、分布を広げることが困難になってしまったのではないかと”などと

考えられているようです。実は先日、私が勤務している信濃町の病院の敷地内でヒグラシの声を聴きびっくりいたしました。が、都心でも自然が回復してきていることの1つの現れと考え、ニイニゼミの復活にも期待したいと思っています。

2013年にリニューアルし、毎号2つの特集を掲載している本誌ですが、本号ではウイルス性肝炎と腹部超音波検査を取り上げました。

ウイルス性肝炎は、その診断においては従来行われてきた血清診断に加えて、近年はPCR法を用いウイルス核酸の検出もルーチンに実施されるようになり、患者さんの感染の状況を的確に評価できるようになっています。また、その治療法においても、インターフェロン(α , β)、ペグインターフェロン、核酸アナログ製剤、リバビリン、プロテアーゼ阻害薬などの抗ウイルス作用を有する薬剤の使用によって大きな進歩がみられています。今回、A, B, C, E型の各肝炎ウイルスおよびEBウイルスやサイトメガロウイルスなどのウイルスで起る肝炎を取り上げ、臨床検査技師が知っておくべき最新情報について解説をいただきました。

腹部超音波検査は最も侵襲が小さく情報量の多い画像検査として臨床現場で活用されていますが、腹腔内の解剖をよく理解したうえで十分なトレーニングを積んでおかないと、効率よく上手に病巣を描出し、質のよい検査結果を出すことが難しい、根気とコツの要る検査です。今回はその辺りのノウハウについて、わかりやすく解説していただきました。皆さまの診断技術を極めるのに、ぜひ役立てていただければと存じております。

本号が、臨床検査に携わる読者の皆さまの日頃の活動の一助となれば幸いです。
(岩田 敏)

編集顧問	河合 忠	濱崎 直孝	山中 學	(五十音順)			
編集同人	猪狩 淳	池田 康夫	伊藤 喜久	大久保昭行	小沢友紀雄		
	片山 善章	軽部 征夫	坂本 穆彦	高橋 正宜	中 恵一		
	三浦 純子	本田 武司					
編集委員	山田 俊幸(主幹)	岩田 敏	河合 昭人	佐藤 尚武	山内 一由		

臨床検査 (第59巻第12号) 2015年11月15日発行(毎月15日発行)

発 行 株式会社 医学書院
代 表 者 金原 優
〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23
☎ 販売部直通 (03) 3817-5659
振替口座 00170-9-96693
☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5712
FAX (03) 3815-7802
E-mail : rin-ken@igaku-shoin.co.jp

定価：本体2,200円＋税
2015年間購読料(送料弊社負担、増刊号を含む13冊)
冊子版 本体30,000円＋税
冊子＋電子版/個人 本体35,000円＋税 冊子＋電子版/共有 本体39,500円＋税
電子版/個人 本体30,000円＋税 電子版/共有 本体34,500円＋税
※2015年より年間購読料は本体価格表示となります。
担当 田村・應利・境田・三由・能藤
印 刷 所 (株)アイワード ☎ (011) 241-9341
広告取扱 日本医学広告社 ☎ (03) 5226-2791

- ・Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2015, Printed in Japan.
- ・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
- ・本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- ・**JCOPY** (出版者著作権管理機構委託出版物)
本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。
- ・医学書院ホームページ(インターネット)は<http://www.igaku-shoin.co.jp>です。
- ・「臨床検査」URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinshokensa/>
- ・「臨床検査」は、株式会社医学書院の登録商標です。